

新たな生活様式における あるべき在宅勤務システムの提案

NECソリューションイノベータ株式会社 猪熊俊夫
 NECソリューションイノベータ株式会社 林靖晃
 日本電子計算株式会社 杉岡諭

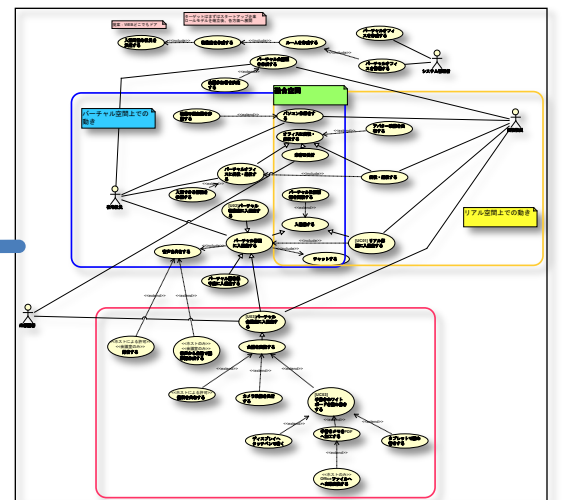
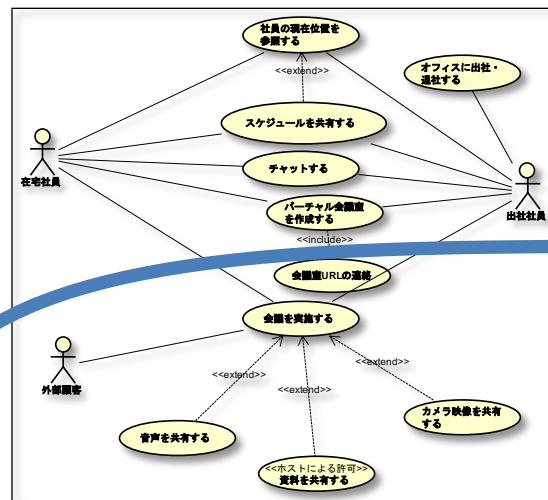
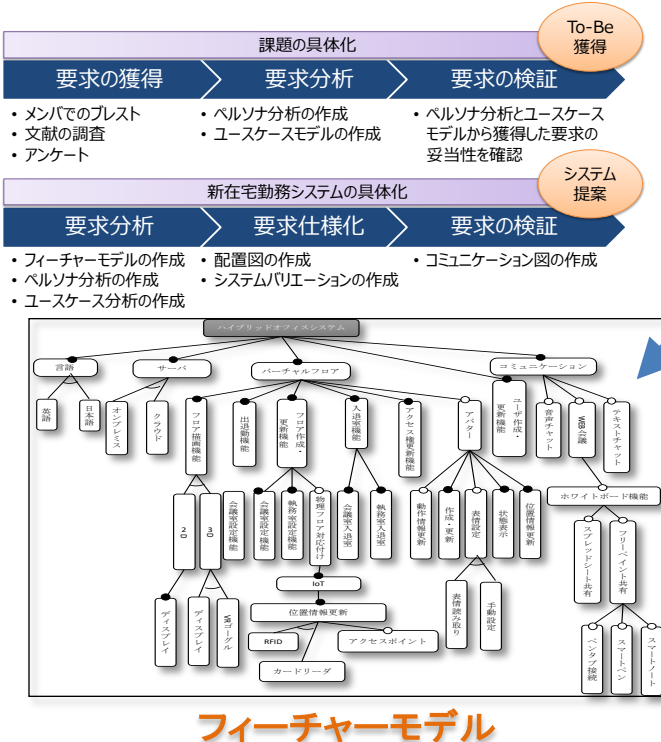
背景と課題

COVID-19による**パンデミック**を背景とした**在宅勤務**のメリットが再認識されている一方で、開発業務、業績評価の方法、労務管理や健康管理、プライベート/パブリック両面における**コミュニケーションの取り方**など、**多岐にわたる課題**が生じている。

手法・ツールの適用による提案

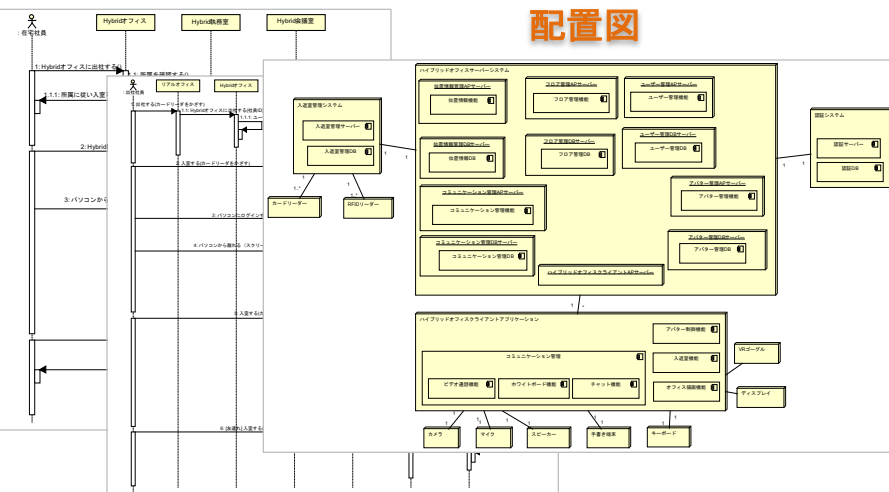
要求工学の手法を適用。
 従来型勤務(**AsIs**)においてはコミュニケーションロスについての要求を獲得した。
 新在宅システム導入後の勤務(**ToBe**)を各種モデルで分析し、IoTによる出社型勤務と在宅勤務の**仮想空間上の融合**をモデル化。

要求獲得および提案の具体化



ペルソナ分析により要求を獲得。
 獲得した要求からToBeユースケースモデルを作成。
 ToBeユースケースモデルから新在宅勤務システムの特徴を具体化し
 フィーチャーモデルとして構成。

評価と考察



コミュニケーション図

評価方法

- 獲得した課題に対する提案となっているか
 AsIsペルソナを新システムにて適応・分析し課題の解決を確認
- 実現可能性があるか
 コミュニケーション図と配置図を作成し、システム構成を具体化して確認
- 目的のために採用した手法は適切だったか
 当初検討したプロセスを実施することで目的を達成できたため、目的のために採用した手法は適切であったことを確認

課題

- ビジネスモデルの検討
 顧客セグメント、成長戦略の検討、SLAのテンプレート化
- 評価指標
 定性的評価、定量的評価について
- 前提条件の解決
 ハードウェア要件、ネットワーク要件等